

一 初冠<sup>1</sup> 伊勢物語

別名 しのぶのみだれ・春日野の若紫 伊勢物語の第一段。

<sup>1</sup> 傍線は読解に役立つ重要語だから辞書で調べる。数字は単なる注釈ではなく読解で意識するポイント。タイトルも段番号も元々は書かれてないので、教科書によって違いがある。

昔、男、初冠して、平城の京、春日の里に、しるよしして、狩にいにけり。その里に、いとなまめいたる女はらから住みにけり。この男かいまみてけり。おもほえずふるさとにいとほしたなくてありければ、心地まどひにけり。男の着たりける狩衣の裾を切りて、歌を書きてやる。その男、しのぶ摺の狩衣をなむ着たりける。

春日野の若紫のすり衣しのぶのみだれかぎり知られず

となむおいつきていひやりける。ついでおもしろきこともや思ひけむ。

みちのくのしのぶもぢすりたれゆゑに乱れそめにし我ならなくに<sup>2</sup>

<sup>2</sup> 源融（とおる）作の歌。伊勢物語のモデル在原業平とも交際があったらしい。

といふ歌のころばへ也。むかし人は、かくいちはやき、みやびをなむしける。

問1 傍線部分は重要語です。訳してください。

問2 文中には「完了・存続の助動詞+過去の助動詞」「(にけり)

(てけり)(たりけり)(にき)がいくつもありますので、指摘してください。

問3 文中の係結びを指摘してください。

問4 和歌の修辞である序詞、掛詞などを指摘してください。